


保存期限	1・3・⑤・10・永
------	------------

様式第5号（第5条関係）

議長	事務局長	事務局員
	 様	

令和5年 4月 7日

矢巾町議会議長



会派名 町民の会

代表者名 廣田 清実



令和4年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項（第2項）の規定により、次のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 1,152,000円

2 支出

項目	金額（円）	主たる支出の内容
調査研究費	304,320円	参議院会館（水田活用支払交付金について） 甲斐市市役所・依存症施設（施設の現状と 問題点）調査
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
事務費		
合計	304,320円	

3 残額

847,680円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

様式第7号 (第6条関係)

政務活動費支出明細書 (会派名 = 町民の会)

(調査研究費 費 ・ 1枚のうち 1枚)

No.	支出年月日	件 名	内 容	金額 (円)	備 考
1	令和 4年 11月9日~ 11日	調査研究費	参議院会館 (水田活用 支払交付金について) 甲斐市市役所・依存症 施設 (施設の現状と問 題点) 調査	304,320 円	

報告期間	1・9・10・永
市長	事務局長
市長	事務局長
事務局長	事務局長

令和4年 12月 15日

矢巾町議会議長

藤原 由巳 様

会派名 町民の会

代表者名 廣田清実

報告者氏名 廣田清実



調査研究等実施報告書

実施年月日	令和 4年11月9日 (水) ~ 令和 4年11月11日 (金)
参加者名 (6人)	町民の会：廣田 清実、高橋 安子、水本 淳一、藤原 信悦 吉田 喜博、高橋 七郎
目的	1, 水田活用の直接支払交付金について 2, 一般社団法人グレイス・ロード甲斐サポートセンター施設の現状と問題点、今後の展望について 3, ギャンブル依存症支援施設グレイス・ロード受け入れの経緯と市として援体制、現状の問題点についての検証
行先	1, 東京 参議院議員会館、広瀬めぐみ事務所、(農林水産省 農産局企画課) 2, 山梨県甲斐市、一般社団法人グレイス・ロード施設 3, 山梨県甲斐市役所、(市議会、福祉部 障がい者支援課)
対応者 又は 主催者	町民の会 廣田 清実
概要及び 所見	別紙にて報告
経費	304,320円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名 = 町民の会)

(調査研究費) ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)							
交通費	交通機関名		経 路		計 算	計	備考
	鉄道 (JR)		矢幅～盛岡～東京～甲府～ 電王 (往復、宿泊料込、取扱料金、保険料)		50,720 円×6 人	304,320 円	整理番号 1-1 内
					円× 人	円	
					円× 人	円	
					円× 人	円	
					円× 人	円	
	タクシー					円	
	レンタカー					円	
	有料道路料金					円	
	駐車料金					円	
	燃料代					円	
						円	
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先		計 算	計	備考	
	11/9	ホテルニューステーション		円× 6 人	円	整理番号 1-1 内	
	11/10	ホテルニューステーション		円× 6 人	円	整理番号 1-1 内	
				円× 人	円		
資料代				円× 人 =	円		
				円× 人 =	円		


合 計	304,320 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄



領 収 証

No. 003803

2022年 11月 4日


(現金) 振込 (小切手)

町民の会 殿

¥ 304,320 -

内 容	種 目	旅行年月日	行先(又は品名)	内 容
	旅 費	2022.11/4 ~ 11/11	東京 東北 温泉 ホテルニューステーション	

上記金額正に領収しました。



〒020-0124 岩手県盛岡市 盛岡-西船場-18
株式会社みちのり 持込社東北
TEL019-641-8811 FAX019-641-8844

内訳

鉄道 (JR) : 矢巾 ~ 竜王 (往復 6 人分) 204,120 円 /

宿泊費 : ホテルニューステーション (二泊、6 人分) 92,400 円 /

取扱料金 : (6 人分) 6,600 円 / 保険料 : (6 人分) 1,200 円 合計 304,320 円

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記 2 項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 4 年 11 月 4 日

他会派との按分 (なし・あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

矢巾町議会 御中

請 求 書

観光庁長官登録旅行業第2019号
株式会社みちのり
本社営業統括本部
020-0124
岩手県盛岡市厨川1丁目1-18
TEL019-641-8811 FAX019-641-8812



視察研修 甲府行き JR券

について、下記のとおりご請求申し上げます。

営業統括本部長 本山 貴
担当者 松本 香織

月日	摘要項目	備考	数量	単価	金額	消費税等	
11/09	交通費運賃 JR 矢幅～盛岡～東京～甲府～電車 往復		6	34,020	204,120	内税10.0%	
11/09	宿泊費 一泊朝食 11/9ホテルニューステーション シングル		6	7,700	46,200	内税10.0%	
11/09	宿泊費 一泊朝食 11/10ホテルニューステーション シングル		6	7,700	46,200	内税10.0%	
11/09	取扱料金 手配料 手配料		6	1,100	6,600	内税10.0%	
11/09	保険料 傷害保険 国内団体旅行保険		6	200	1,200	非課税	
小計					304,320	0	
【備考】					旅行代金	304,320	
					お預り金額	0	
					請求合計	304,320	
御振込先 北日本銀行 本店 普通 口座番号 6687291 口座名義人 矢巾町議会 お手数料ですが、手数料はお客様にてご負担願います					税区分別合計	非課	1,200
						内税10.0%	303,120

参議院会館視察研修報告書

令和4年11月9日

13時30分から16時

参議院議員 広瀬めぐみ国会事務所において

説明者 農林水産省農政局企画課水田農業対策室 課長補佐
村松 直

水田活用の直接払い交付金等の拡充、見直しについて

今後5年間に一度も水張が行われない農地は交付対象水田としない方針である。

- 畦畔等を有しない農地
- 用水源及び用水路等を有しない農地

以上のいずれかに該当するものは、交付対象水田から除くとのことである、その取り組みとして

- 生産者がどの作物に転換するかを幅広く検討できるよう、作付け転換の検討を早い時期から開始する。
- 麦・大豆・野菜などの定着性・収益性の高い品目、輸出用米など需要増が見込まれる品目への転換、飼料用米や米粉用米に取り組む場合は需要に応じた生産に対応するため、他収品種や専用品種で取り組む
- 転換作物が定着している水田は、畑地化する。一方水田として利用する場合は、運作障害回避のためにブロックローションをおこなう。
- 中長期的にどのような産地を目指すのかを関係者間で共有し主食米に後戻りしない作付け転換を計画的に進めていく、産地ごとにしっかり取り組むことで需要に応じた生産を実現できる。

所見

- 農地が衰退すれば県土も国土も衰退する。農地を維持するためにも営農を継続しなければならないという気持ちは農家の皆さんも同じ考えでありその思いを大切にしている。
- 圃場整備で大区画化によって効率化を図り生産性収益性向上に向けた取り組み支援の必要性。
- 畑地化支援、定着促進支援により高収益作物 10 アール当たり 17.5 万円、畑作物 10 アール当たり 14 万円の支援、ちなみに水稲作付け 10 アール当たり 16 万円程度の収益である。水田の畑地化により農家の収益水準が上がる事がわかる。

以上

ギャンブル依存症回復施設

グレース・ロード甲斐サポートセンター報告書

1 日 時：11月10日（木）9：00～12：00

2 グレース・ロードの沿革

2015年12月 一般社団法人グレース・ロード甲斐センター設立

2017年7月 指定自立訓練（生活訓練）事業所「グレース・ロード
甲斐サポートセンター」開設

本施設は、ギャンブル依存症に苦しむ家族の趣旨・意向
に賛同して設立された依存症専門の回復施設。

2020年7月 ネット・ゲーム依存症相談専用ダイヤル開設

3 研修内容

グレース・ロード甲斐サポートセンター担当者

佐々木広代表・菅原 和弘（危機管理アドバイザー元 岩手県警）

池田文隆（甲斐サポートセンターセンター長） 田村

○ グレース・ロード佐々木 広代表より挨拶

○ 施設説明と現在の施設内容・・・池田センター長

- ・ 現在の入所者は、53名で平均年齢は32歳と若い世代が多い
- ・ 設立当初から現在までの総利用者数は250名
- ・ 当施設は、依存症から自分で立ち治れない本人や家族の相談により入所。プログラムの中で立ち直りや居場所づくりを支援する。
- ・ 週間プログラムでは、1週間のスケジュールが決められており、毎日のグループミーティングを中心に、地域清掃ボランティア等も含まれている。
- ・ スタッフには、弁護士や公認心理士・カウンセラー、元警察官がサポートしている。
- ・ ネット・ゲーム依存症の専用相談や講演活動を全国各地で実施。
- ・ 地元商工会とコラボし、利用者が退所後の職場見学会や会社説明会を実施。

○ グループミーティング

入所者10名で行うミーティングは、自分のこの施設に至るまでの体験をみんなの前で話す。その中の一人は、高校までは普通の野球少年だったが、ギャンブルにのめり込むようになり、何度も止めようと思ったが、止められず、自殺まで考えたとの発表などがあった。

○ 社会復帰を目指して集団生活をしながら、職業訓練等を実施している施設の見学。

4 所 見

友人や家族からの借金や、窃盗などにも追い込まれるというギャンブル依存が増加している。また、小中学生や高校生がゲーム依存で昼夜関係なくなり、不登校になる例も多いと聞く。ギャンブル依存は病気であり、ゲーム依存についても本年世界保健機構が精神疾患として認定、これらの依存症の手当をして再犯を防ごうとする同施設の考えは、本当に今必要とされている施設であると思う。

グレース・ロードは、国の助成を受け全国各地で、関係者や関係機関を対象にセミナー、フォーラムを実施しているとのこと。

本町に於いても、ギャンブル・ゲーム依存が多いと考えられることから、実施の必要があると思う。

2022年11月21日

「町民の会」視察研修報告

報告者：藤原信悦

- 視察先： 甲斐市市役所 山梨県甲斐市篠原 2610 番地
視察日： 令和4年12月9日(水)
研修目的： ギャンブル依存症支援施設「グレイス・ロード」受入れ経緯と市の支援体制、現状の問題点についての検証
尚、「グレイス・ロード」については午前中視察、施設運用内容等を視察・確認している。
出席者： 別紙「名簿」のとおり。但し、赤沢敦議長挨拶後、ご本人、山田議会事務局局長、同事務局副主幹の池上氏は退席された。
説明者： 福祉部 障がい者支援課課長 早川英彦氏

【歓迎挨拶】 赤沢 厚議長

甲斐市は平成16年、竜王町、双葉町、敷島町の3町が合併して誕生。甲府市の北西に位置し、人口は約7.6万人で県内2位の規模。人口も増加している。
4月に選挙が行われ、議員定数は22名から19名となっている。
ギャンブル依存症の支援施設「グレード・ロード」については、担当の早川課長が行います。

【視察者挨拶】 町民の会代表 廣田清実

昨今はギャンブルや薬物だけでなく、ネットやゲームの依存症も増えている。「グレイス・ロード」や甲斐市の取組みを参考に、今後、具体的に考えていきたいと考えている。

【説明】 福祉部 障がい者支援課 課長 早川英彦氏

- ・「グレイス・ロード甲斐サポートセンター」は、平成27年2月1日に開所されているが、具体的な経緯は把握していない。
- ・住民の反対、苦情はなかった。開所により市として良かったことは特段ない。自治会長に聞くと、「グレイス・ロード」の方々が定期的に清掃活動をし、また、地域の行事での手伝いや参加をしているので地域では好意的に捉えられている。
- ・尚、市としては、障がい者総合支援法により、市内に所在する寮から通所する者に係わる報酬を市が負担している。対象は10名。・市としては住所特例制度(入所前の市町村が援護の実施者となる)が適用されるグループホー

ムの制度を提案している。これが懸案事項となっている。

【質 疑】

Q1 どのような自治会活動に参加しているのか？

A1 4月 河川清掃に30名、
5月 グランドゴルフ大会の設営に20名
ソフトボール大会に5名
祭典の設営、片づけ、出店、イベント
10月 自治会の大運動会設営に25名
11月 防災訓練に20名
他、毎月清掃と会議をしている。

Q2 住民とのトラブルはないか

A2 トラブルはない。住民に頼られている。災害対応について協定を結んでいる。

Q3 施設に対する今後の不安はないか

A3 不安はない。地域との交流があり、認められている。

Q4 改善要望は

A4 住所を甲斐市に移していない人の訓練費用を当市で負担している。グループホームであれば住所地の市町村の負担となるので、これを提案している。今のままでの負担増は市にとって厳しい。

【所 感】

- ・市はギャンブル依存症の更生施設である「グレース・ロード」についてよく理解されていないのではないかと感じた。なぜなら、今回、自治会長さんに施設の件について確認されたようで、住民が施設を評価していることを初めて知ったのではないのかと思われる。
- ・更生まで2年前後かかるようだが、更生後地元に残る人が多いとのこと。今回、施設訪問等をしてくれた生活支援員の若手2名はともに更生者であり、更生後も山梨に残り、施設の運営・指導に携わっている。また、一人は地元の女性と結婚され、家庭をもたれている。定住・移住にも寄与している
- ・本来は、まじめで、芯の強い人たちであるが故に、ボタンの掛け違いで一人では後戻りできないほどにギャンブルにのめり込み、犯罪を起こしたりするのはないかと思う。
校正へのきっかけとその道筋を自ら学べるプログラムをこの施設は提供しており、このような施設は岩手においてもあるべきと考える。

以上

